

## 令和7年度 事業計画書

法人の名称 特定非営利活動法人 Rocket-trail

### 1 事業活動方針

ロケットに興味を持つ青少年に対して、有用性と実現性の高い事業から展開していく。  
本年度は、2の事業内容に挙げている事業のうち特に次の2事業を実現させる。

③ ロケット教室等の開催事業

⑤-ア ロケット競技等の開催・運営事業

ロケット競技大会の開催・運営については、日本モデルロケット協会や日本模型航空連盟等と協働することで、ロケット教育関連団体との協働連携促進事業につなげていく。

### 2 事業内容

#### (1) 特定非営利活動に係る事業

##### ①STEAM教育に関する調査・研究事業

- ・内 容 日本や海外におけるSTEAM教育及びモデルロケットを用いたSTEAM教育に関する実践内容と教材を調査する。また、教育機関等の課題把握のためにアンケート調査を行い当法人で活動可能な内容を研究する。
- ・日 時 通年
- ・場 所 神奈川県内、主に横浜市・川崎市・鎌倉市
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 青少年
- ・費用見込額 30,000円

##### ②STEAM教育の振興のための普及・啓発事業

- ・内 容 STEAM教育やモデルロケットを用いたSTEAM教育の重要性を広めるため、活動内容を紹介するイベントや教室（ワークショップ）の開催、教材等を教育機関等に普及する。
- ・日 時 通年
- ・場 所 神奈川県内、主に横浜市・川崎市・鎌倉市の公共施設や学校
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 青少年
- ・費用見込額 30,000円

##### ③ロケット教室等の開催事業

- ・内 容 青少年を対象にモデルロケットを制作し、実際に打ち上げる教室（ワークショップ）及びモデルロケット打上従事者資格（4級ライセンス）取得を支援する講座を企画・運営をする。
- ・日 時 令和7年8月、令和8年4月
- ・場 所 神奈川県内、主に横浜市・川崎市・鎌倉市の学校グラウンドや公園
- ・従事者人員 10人
- ・受益対象者 ロケット教室受講者（横浜市、川崎市の青少年）10人（各回）
- ・費用見込額 83,000円

④ロケット教材の開発・配布事業

- ・内 容 モデルロケット教材は日本での生産がないため、ロケット教室（ワークショップ）で使用する教材を開発し、ロケット教室やイベント等で配布する。
- ・日 時 通年
- ・場 所 事務所や学校等
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 ロケット教室受講者、モデルロケット大会参加者
- ・費用見込額 30,000円

⑤ロケット競技等に関する開催・支援事業

ア ロケット競技等の開催・運営事業

- ・内 容 地域の公園やグラウンドを借りて競技（モデルロケット大会）等を企画・運営をする。
- ・日 時 令和7年8月、令和8年4月
- ・場 所 神奈川県内、主に横浜市内公園又は学校グラウンド
- ・従事者人員 10人
- ・受益対象者 神奈川県内、主に横浜市、川崎市の青少年 20人（各回）
- ・費用見込額 100,000円

イ ロケット競技参加者の活動支援事業

- ・内 容 モデルロケット全国大会やロケット甲子園の国際大会等の国内大会並びにIRC（international rocketry challenge）やWSMC（world space modeling competition）等の海外大会へ参加する者の大会参加費の援助と技術支援を実施する。
- ・日 時 通年
- ・場 所 神奈川県横浜市
- ・従事者人員 10人
- ・受益対象者 全国大会、世界大会に出場する者
- ・費用見込額 100,000円

⑥青少年と地域との交流事業

ア ロケット教育関連団体との協働連携促進事業

- ・内 容 日本モデルロケット協会や日本模型航空連盟等と協働することでロケットに興味を持つ青少年により多く参加してもらえる交流の場を提供する。
- ・日 時 通年
- ・場 所 神奈川県横浜市・川崎市・鎌倉市
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 青少年
- ・費用見込額 10,000円

イ 産業界、大学及び官公立機関との協働連携促進事業

- ・内 容 ロケット関連企業や日本大学理工学部（日大ロケット研究会）、ものづくり大学（宇宙開発研究プロジェクト「MAXS」）及び神奈川大学（宇宙ロケット部）等と連携したモデルロケット制作講座を開催する。

- ・ 日 時 通年
- ・ 場 所 神奈川県横浜市・川崎市・鎌倉市
- ・ 従事者人員 3人
- ・ 受益対象者 青少年
- ・ 費用見込額 10,000円

## 令和8年度 事業計画書

法人の名称 特定非営利活動法人 Rocket-trail

### 1 事業活動方針

有用性と実現性の高い事業を発展させ、新たな事業を充実させていく。

本年度は、2の事業内容に挙げている事業のうち特に次の3つの活動を発展させる。

③ ロケット教室等の開催事業

⑤-ア ロケット競技等の開催・運営事業

⑤-イ ロケット競技参加者の活動支援事業

なお、ロケット競技大会の開催については、日本モデルロケット協会の支援を取り付け、大会運営についても同協会運営委員の参加協力を依頼する。これにより、ロケット競技大会参加者の活動支援事業を着実に実行していく。

### 2 事業内容

#### (1) 特定非営利活動に係る事業

##### ①STEAM教育に関する調査・研究事業

- ・内 容 日本や海外におけるSTEAM教育及びモデルロケットを用いたSTEAM教育に関する実践内容と教材を調査する。また、教育機関等の課題把握のためにアンケート調査を行い当法人で活動可能な内容を研究する。
- ・日 時 通年
- ・場 所 神奈川県内、主に横浜市・川崎市・鎌倉市
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 青少年
- ・費用見込額 30,000円

##### ②STEAM教育の振興のための普及・啓発事業

- ・内 容 STEAM教育やモデルロケットを用いたSTEAM教育の重要性を広めるため、活動内容を紹介するイベントや教室（ワークショップ）の開催、教材等を教育機関等に普及する。
- ・日 時 通年
- ・場 所 神奈川県内、主に横浜市・川崎市・鎌倉市の公共施設や学校
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 青少年
- ・費用見込額 30,000円

##### ③ロケット教室等の開催事業

- ・内 容 青少年を対象にモデルロケットを制作し、実際に打ち上げる教室（ワークショップ）及びモデルロケット打上従事者資格（4級ライセンス）取得を支援する講座を企画・運営をする。
- ・日 時 令和8年8月、令和9年4月
- ・場 所 神奈川県内、主に横浜市・川崎市・鎌倉市の学校グラウンドや公園
- ・従事者人員 10人
- ・受益対象者 ロケット教室受講者（横浜市、川崎市の青少年）10人（各回）
- ・費用見込額 83,000円

④ロケット教材の開発・配布事業

- ・内 容 モデルロケット教材は日本での生産がないため、ロケット教室（ワークショップ）で使用する教材を開発し、ロケット教室やイベント等で配布する。
- ・日 時 通年
- ・場 所 事務所や学校等
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 ロケット教室受講者、モデルロケット大会参加者
- ・費用見込額 30,000円

⑤ロケット競技等に関する開催・支援事業

ア ロケット競技等の開催・運営事業

- ・内 容 地域の公園やグラウンドを借りて競技（モデルロケット大会）等を企画・運営をする。
- ・日 時 令和8年8月、令和9年4月
- ・場 所 神奈川県内、主に横浜市内公園又は学校グラウンド
- ・従事者人員 10人
- ・受益対象者 神奈川県内、主に横浜市、川崎市の青少年 20人（各回）
- ・費用見込額 100,000円

イ ロケット競技参加者の活動支援事業

- ・内 容 モデルロケット全国大会やロケット甲子園の国際大会等の国内大会並びにIRC（international rocketry challenge）やWSMC（world space modeling competition）等の海外大会へ参加する者の大会参加費の援助と技術支援を実施する。
- ・日 時 通年
- ・場 所 神奈川県横浜市
- ・従事者人員 10人
- ・受益対象者 全国大会、世界大会に出場する者
- ・費用見込額 100,000円

⑥青少年と地域との交流事業

ア ロケット教育関連団体との協働連携促進事業

- ・内 容 日本モデルロケット協会や日本模型航空連盟等と協働することでよりロケットに興味を持つ青少年により多く参加してもらえる交流の場を提供する。
- ・日 時 通年
- ・場 所 神奈川県横浜市・川崎市・鎌倉市
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 青少年
- ・費用見込額 10,000円

イ 産業界、大学及び官公立機関との協働連携促進事業

- ・内 容 ロケット関連企業や日本大学理工学部（日大ロケット研究会）、ものづくり大学（宇宙開発研究プロジェクト「MAXS」）及び神奈川大学（宇宙ロケット部）等と連携したモデルロケット制作講座を開催する。

- ・ 日 時 通年
- ・ 場 所 神奈川県横浜市・川崎市・鎌倉市
- ・ 従事者人員 3人
- ・ 受益対象者 青少年
- ・ 費用見込額 10,000円